

■決壊の状況

氾濫面積	約440km ²
浸水域内人口	約60万人
被害額	約70億円(一般資産＋農作物等)
最高水位	9.17m(栗橋、9月16日午前0時20分)

(出典：利根川決壊)



◀堤防が決壊し濁流が流れ込む旧大利根町(現・加須市)

■関東の被害状況

都県名	家屋浸水(戸)		家屋流出倒壊(戸)	家屋半壊(戸)	死者(人)	負傷者(人)	田畑の浸水(ha)
	床上	床下					
東京	72,945	15,485	56	0	8	138	2,349
千葉	263	654	0	6	4	0	2,010
埼玉	44,610	34,334	1,118	2,116	86	1,394	66,524
群馬	31,091	39,938	19,936	1,948	592	315	62,300
茨城	10,482	7,716	209	75	58	23	19,204
栃木		45,642	2,417	3,500	352	550	24,402
合計		303,160	23,736	7,645	1,100	2,420	176,789

(出典：利根川百年史)



東京まで浸水被害があったんだね。70年前のことだと、被害のイメージがなかなかできないなあ～。

平成27年9月の関東・東北豪雨で決壊した鬼怒川周辺の被害状況と比較すると、被害の大きさが分かりますね(下表参照)。



■カスリーン台風と関東・東北豪雨の被害比較

	カスリーン台風	関東・東北豪雨 (茨城県の被害状況)
氾濫面積	約440km ²	約40km ² *
住宅被害(全壊・半壊)	31,381戸	5,551戸
家屋浸水(床上・床下)	303,160戸	3,982戸
総降水量(最大)	611mm(秩父)	647.5mm(今市)
総降水量(近隣)	341mm(熊谷)	298.5mm(古河)

※関東・東北豪雨の氾濫面積は鬼怒川流域での面積。

これからも、豪雨被害が想定されるので、避難に備えた準備が必要です。



■もう一度考えよう！災害に備えた心構え

避難について確認しよう！



家族で避難場所や連絡方法をしっかり確認しておきましょう



避難場所の確認や道順を実際に確認しておきましょう。

非常用品を備えておこう！

水

- ・1人1日3リットルが目安(3日分)
- ・生活用水も十分に確保

食料

- ・用意する食料は最低3日分
- ・火を使わない食料を用意

光熱

- ・懐中電灯を家族1人に1個用意
- ・卓上用カセットコンロはがあると便利

